

北海道帯広盲学校



学校だより

210

学校ホームページ <http://www.obihiro-sb.hokkaido-c.ed.jp>

令和6年(2024年)

4月26日金曜日 発行

〒080-2475

帯広市西25条南2丁目9番地1

TEL 0155(37)2028

FAX 0155(37)3768

3つの「生きる力」の育成を目指し

北海道帯広盲学校長 瘡 師 輝 幸

「残雪の山脈はるか 風かおる 十勝の原に 生いいでし 若草われら〜」と始まる本校の校歌のように、厳しかった十勝の冬を経て新しい年度とともに若々しい草木の生きる力を感じる季節となりました。

今年度は、幼稚部に2名の新生を迎え、幼稚部4名・小学部3名・中学部1名の計8名でスタートしております。

始業式から約3週間が経ち、子どもたちに緊張や不安があったものの新しい環境にもスムーズに順応し、毎日子どもたちの元気な声が校内に響いています。

本校では、今年度改めて校訓を「かしこく ゆたかに たくましく」と制定しました。

「かしこく」：学力のみならず、生活する上での知識や方法を身に付ける。

「ゆたかに」：人や生き物、自然や社会と調和しながら、人としての感情や表現を身に付ける。

「たくましく」：健康であるとともに、幾多の困難にも耐えうる心と体を身に付ける。

現在、在籍している子どもだけでなく、本校を巣立っていく卒業生や本校から支援を受けている地域の子どものにも「かしこく生きる力」「ゆたかに生きる力」「たくましく生きる力」を身に付けてほしいという願いを理念に掲げたところです。

今年度の重点教育目標は、昨年度に引き続き「考える力、人とのかかわる力、行動する力を育てる」とし、それをもとにした研究主題としている「伝える力を高める指導方法の追求」の成果を、11月に本校で開催する「北海道視覚障がい教育研究大会」で成果報告する予定であります。本校には視覚障がいだけでなく、知的障がいなどの他の障がいを合わせ有している子どもの割合も多いことから、求められる専門性を高めつつ、より一人一人の実態・ニーズに応じた「個別最適な学び」の中から、他者へ気持ちや思いを伝えるための指導実践をお伝えできればと考えております。

また、視覚障がい教育のセンター的機能を発揮するにあたり、スポットビジョン・スクリーナーを活用した出張教育相談、見え方に課題のある子どもに対しての問い合わせや相談なども一定数のニーズがあることから、地域への貢献ができていると実感しております。

昨年度から始めたSNS(XやYouTube)を活用した理解啓発では、多くの方々に閲覧・視聴いただいており、本校の教育活動をタイムリーにお知らせできていると感じております。より盲学校・視覚障がいを知っていただくために今年度も継続してお伝えします。

同じく昨年度からスタートした学校運営協議会では、今年度2年目を迎えることからさらに発展させ、「地域が盲学校にできること」「盲学校が地域に貢献できること」をテーマに、協議会の中で熟議を繰り返しながら模索を続けていく予定です。

今年度も本校の子どもたちだけでなく、地域に点在する視覚に支援が必要な子どもが健やかに成長していけるよう全職員が一丸となって取り組んで参りますのでご理解とご協力をお願いいたします。